

平成31年度第3回白井市指定管理者選定審査会 会議録（概要）

- 1 開催日時 令和元年9月12日（木）午後1時15分から午後4時45分
- 2 開催場所 白井市役所 本庁舎3階 会議室301
- 3 出席者 岡東会長、松山副会長、山崎委員、岡村委員、清水委員
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 財政課 相馬主査、元田主査、木内主事
生涯学習課 石戸課長、岩立主査補
子育て支援課 山本主査
高齢者福祉課 中村主査補
- 6 申請団体 シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社（3名）
特定非営利活動法人ワーカーズコープ（3名）
- 7 傍聴者 なし（非公開）
- 8 議題 議題1 白井市白井駅前センターの指定管理者の候補者の選定について
議題2 白井市高齢者就労指導センターの指定管理者の候補者の答申（案）について

●事務局

それでは、今年度3回目、指定管理者選定審査会を始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

本日のスケジュールは、次第が2つございまして、午後4時45分ごろの終了を予定していますので、よろしく願いいたします。

開会に当たり、岡東会長からご挨拶よろしく願いいたします。

●会長

今年3回目ということで、議題は白井市白井駅前センターの指定管理者の候補者の選定についてと、2番目ですけれども、前回審議しました白井市高齢者就労指導センターの指定管理者の候補者の答申の案について、2つであります。

議題1は、応募団体が2団体でして、1つがシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社、あとは、ワーカーズコープさんでそれぞれプレゼンテーションされます。

それで、私は久しぶりに白井に来たのですけれども、台風15号の影響で梨が大被害を受けたということでございまして、お悔やみというのかご愁傷さまです。元気を出して頑張ってください。

それでは、始めたいと思います。よろしく願いいたします。

●事務局

それでは、資料の確認をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

まず次第です。資料1と書いてあるもの。資料2が答申案です。審査票が2団体分になります。あとは要綱と2団体分の申請書という形になりますので、よろしく願いいたします。

審査方法ですが、第1回で決めたとおりになりますので、よろしく願いいたします。

総評価点数が、今回は、156点満点になります。サービス等の評価点数が140点満点で、価格評価点数が16点満点という形になります。

各項目に関しては、基本的に10点満点で採点いただきますけれども、(9)と(10)については5点満点になります。

また、(16)と(17)に関しては8点満点という形になります。

なお、審査票に、公民館、児童館、老人憩いの家と書いてある場合は、それぞれ点数をつけていただき、最終的に一番右の黒枠に平均得点をご記入いただければと思います。

●委員

割り切れなかったのは。

●事務局

割り切れないものはそのままにさせていただいて、最終的に事務局で小数点第2位を四捨五入して点数を記入します。

何か審査票でご質問ありますか。ないですかね。

そうしましたら、ここで白井駅前センターの施設を担当している担当課の紹介をさせていただきます。

まず、施設の主管課の生涯学習課の石戸課長です。

●生涯学習課

石戸です。よろしく願いします。

●生涯学習課

岩立です。よろしく願いいたします。

●事務局

児童館担当の子育て支援課の山本です。

●子育て支援課

山本です。よろしく願いします。

●事務局

老人憩いの家担当の高齢者福祉課の中村です。

●高齢者福祉課

中村です。よろしく願いします。

●事務局

以上という形になります。事務局は変わりませんので、紹介を割愛させていただきます。

それでは、これより議事進行を会長にお願いして議題に入りますので、よろしく願い

いたします。

●会長

それでは、生涯学習課長から施設の説明を現状3年間の実績に対する評価を含めて、お願いします。

●事務局

白井駅前センターの施設の概要等ですかね。概要等及び、この3年間の実績という形で説明を生涯学習課から、よろしく願いいたします。

●生涯学習課

それでは、白井駅前センター指定管理選定審査に関しまして説明させていただきます。

まず、施設の設置目的及び概要についてですが、本施設は、昭和54年の千葉ニュータウン事業を契機として整備され、公民館、児童館、老人憩いの家及び出張所からなり、市民生活の向上、福祉の増進、社会教育の振興及び市民の意識を高める場として昭和61年に設置した施設でございます。

構造等につきましては、募集要項の1ページの2、施設の概要(3)以下の記載のとおりとなります。

管理運営の基本方針は、4ページの3、施設の管理運営方針をご覧ください。

市民のコミュニティ活動や連帯意識を醸成する場として、施設の機能等を有効に活用し、利用に対する柔軟なサービス提供や各種講座の充実、実施などを図ることとしています。

指定期間と指定管理料の見込み額についてですが、5ページの5、指定の期間をご覧ください。

今回の募集から、指定期間を3年から5年間に変更し、令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間となります。指定管理料につきましては、5ページの6、経費に関する事項をご覧ください。

5年間の指定管理料見込み額は、1億8,048万円と見込んでおります。

続きまして、募集及び選定についてです。

募集要項の7ページの8、指定管理者の募集及び選定スケジュールをご覧ください。

募集要項等は7月15日から配布、現地説明会を7月24日に実施し、申請書の受付開始を8月5日からとしたスケジュールで行いました。

なお、7月24日に実施した現地見学会には3団体の参加があり、そのうちの2団体から今回申請がありました。

申請者の資格につきましては、6ページの7、応募の資格をご覧ください。

指定期間中、本施設を安全かつ円滑に管理運営ができ、国内に事務所を設置している法人及びその他団体としております。申請のありました2団体とも、東京に事務所を有しており、申請者資格に該当する団体であることを確認しております。

また、制限事項に関しまして、国税、地方税を滞納しているものなど8項目の制限事項

を設けておりますが、1、募集の条件について、7、応募資格、(2)制限事項に示している項目の該当はなく、また、誓約書の提出がされており、適合していることを確認しております。

なお、提出については、8ページの11、申請の手続で示しております申請書、事業計画書、収支計算書など、書類におきましては全て整っております。

業務内容につきましては、16ページの2、指定管理者が行う業務をご覧ください。

主な業務については、公民館、児童館、老人憩いの家、図書室に関するさまざまな業務のほか、施設の維持管理などとなっております。

今回、申請のありました2団体についてですが、特定非営利活動法人ワーカーズコープは、白井駅前センターの現在の指定管理者となりますが、指定期間において特に大きな問題もなく、地域の実情に合わせて適切な管理運営をしていただいております。

シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社につきましては、類似施設の管理運営を全国で広く行っており、指定管理者としての実績も多くノウハウもあることから、問題ないものと思われま

す。以上のことから、申請のありました特定非営利活動法人ワーカーズコープ及びシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社についての指定管理者の選定を行うに当たり、白井市公民館の設置及び管理に関する条例第12条、白井市児童館の設置及び管理に関する条例第12条及び白井老人憩いの家の設置及び管理に関する条例第12条の規定により、指定管理者選定審査会のご意見をいただきたいので、審査をお願いいたします。

以上で説明を終わります。よろしく申し上げます。

●会長

確認になりますけれども、特に運営上の問題はなかったと。

●生涯学習課

はい。この3年間についてはありませんでした。

●会長

この件につきまして、皆様質問ありますか。今の生涯学習課長の説明につきまして。清水委員どうぞ。

●委員

金額がかなり違うので、審査の結果では指定管理者が変更となることが十分あり得ると思うのですが、変わっても問題ないですか。

●生涯学習課

指定管理が変わるといのは、メリットもデメリットもあると思います。金額が安くなれば、メリットになりますし、変わることによって、今までの連続性がどうなるかというところは未知数ですので、そういう意味ではどちらもあると思います。

多分、今回の審査に係る業者、団体もそうですけれども、片方は連続してこれまで指定

管理をやっていますし、もう片方の団体も、前回の3年間の指定管理期間の時の募集に、説明会には一度来ているのです。ただ、そのときは、指定期間が3年間ということだったので、申請がされなかったのですけれども、今回5年間ということになって実際に申請に来たということで、業者としても、5年間になったというので、メリットを感じたのかなということは思っております。

●会長

児童館と老人憩いの家のそれぞれの担当の方がお見えになってはいますが、それぞれご意見をいただきたいのですけれども。

●子育て支援課

児童館については、自主事業などについては、計画されたとおりに実施されておられて、特に問題もなく、けがもなく、事故もなく実施されていますので、現事業者であっても問題はないと考えております。

●会長

老人憩いの家はいかがですか。

●高齢者福祉課

同じように、老人憩いの家についても、自主事業等を実施しておられて、老人憩いの家を活用されていて、特に問題ないという判断でおります。

●会長

それでは、よろしいですか。山崎委員どうぞ。

●委員

ちょっと話が違うのかどうかわからないのですが、審査票の事業計画書で、シダックスさんの5-1、5-4、5-7で、老朽化した施設の改善費用というのが出てくるのです。これはかなりの費用がかかると思うのですが、このシダックスさんが収益で賄うような表現があるので、その程度でできる費用なのでしょうか。

●生涯学習課

この後、シダックスさんが、プレゼンを行うのですが、その中で、修繕に関してはどのように考えているかということをお話ししていただける形になっておりますので、そこでお話を聞いていただいた後に、また質問のほうで同様にさせていただければと思っております。

●委員

わかりました。

●会長

以上で、担当課とのやりとりは終わりにしましょう。

●事務局

それでは、団体を呼んでいきますので、しばらくお待ちください。

(応募団体入室)

●事務局

それでは、これより白井駅前センターの指定管理者の候補者の選定に係る審査を開始いたします。

審査に当たり、事務局から留意事項を申し上げます。

まず時間ですが、審査は団体からのプレゼンテーションが30分、委員さんからの質疑が30分の計60分となります。

プレゼンテーションについては、団体の概要書、事業計画書、収支計算書の順で行い、必ず資料右上のページ番号をおっしゃってから説明をしてください。

審査は、事業計画書、収支計算書ごとに行います。よって、事業計画書等から逸脱したプレゼンテーションは、適正な審査ができなくなるため、ご注意願います。

また、事務局がベルを鳴らしましたら、終了5分前の合図となります。2回目のベルで30分経過となりますので、そこでプレゼンテーションを終了とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、プレゼンテーションをお願いします。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

まず自己紹介だけさせていただきますと思います。よろしくお願いいたします。

千葉営業所というところが今回管轄になりますので、私、千葉営業所の所長、福田と申します。よろしくお願いいたします。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

私、千葉の営業担当をしている菊池と申します。よろしくお願いいたします。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

同じく千葉の営業担当をしております中山と申します。よろしくお願いいたします。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

本日は、この3名で進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

着座して進めます。よろしくお願いいたします。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

それでは、白井駅前センターのプレゼンをさせていただきます。

まず会社概要からのご説明になります。提案書になりますと、20ページになります。

シダックス株式会社のグループ紹介です。弊社は、グループ一括で運営できるのが一番の強みとなります。今回、本施設の運営は、右記にございますシダックス大新東ヒューマンサービスで運営をさせていただきます。

また、本施設内では、自主事業政策の一つの課題となります。弊社は、飲食、サービス

を中心とした企業なので、地域のお客様に根ざした独自事業運営が可能となります。B to B企業であれば、実施するには許可が必要ですが、物販の販売から、栄養士や調理師による料理教室の開催などが代表的に挙げられます。B to C事業は許可の必要のないこともあり、講師活用などを自主事業政策として挙げさせていただいております。このようにさまざまな手法を用いて本施設のニーズにお応えすることが可能なのが、弊社の強みとなります。

また、左記に赤色で表記しておりますシダックスアイ株式会社につきましては、後ほどご説明させていただきます。

続きまして、参考ページの4ページになります。

今回、本施設の運営をさせていただくシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社の会社概要を掲載させていただきます。千葉県内に千葉営業所、君津営業所、横芝光営業所、南房総営業所の4営業所を構えており、本施設の管轄営業所は千葉営業所となります。従業員9,541名のうち、自主事業の本施設運営に該当する者を含め3,158名の有資格者を保有しております。

主となる運営事業として、指定管理業務はもちろん、放課後児童クラブ、児童館、子育て支援センターの業務委託、学校給食の業務委託がメインとなる企業となります。

上記業務を運営していくのは、機械ではなく人です。弊社は人を財産と掲げ、従業員に対しさまざまなサポートをすることで、全国で多数の自治体に上記業務をお任せいただいております。本施設業務でおつき合いさせていただく際も、全国で水平展開の運営を実施するのは、弊社の強みとなります。

続きまして、参考ページ8ページ、指示命令系統図に関してご説明をさせていただきます。

弊社が本施設の指定管理業務を受託させていただいた場合の組織図をまとめました。また、白井市と現場との連携強化のために、弊社はエリアマネージャーを1名配置し、施設巡回、市及び地域との連絡調整、運営の指導及び監督をメインに実施していきます。

また、本社には、事業推進室を配置しています。全国で実施した好事例を水平化するなど、最新の情報を配信する部署となっております。本施設の急な欠員などをフォローするバックアップ体制も充実しております。今後、最低賃金の値上げもごございます。組織をフルに活用し人件費圧縮につなげていくことで、本施設の人件費を少しでも多く軽減するように精進していきます。

続きまして、運営の基本方針のご説明をさせていただきます。参考ページは6ページになります。

弊社は2本の柱を基本方針とさせていただきます。

まずは、一つ目の柱としましては、施設の老朽化の改善になります。現在、現業者は、チャイルドルームの床をフローリング化しておりますが、弊社の優先順位は共有部分であ

ると考えます。本施設は、児童だけではなく高齢者も利用する施設となりますので、入り口ロビー、通路、トイレなどを優先的に修繕していくことが重要と考えております。

写真のように、通路はバリアフリー化することで、まずご利用者全体に施設の変化に気づいていただける施設運営を基本方針の一つの柱とさせていただきます。基本的には、事業年度ごとに予算に見合った修繕を実施してまいります。ただし、大規模が見込まれる修繕の場合は、白井市と協議をさせていただいて、その都度決定をしていく予定です。

二つ目に、ITの活用となります。では、ITの活用とはどのようなことを指すのか、具体的に説明をさせていただきます。

こちらは、本施設の中高生ルームです。こちらに例えば仕切りがあるデスクを導入し、児童が集中できる学習スペースを設けます。また、学習スペースにデスクトップのパソコンを導入いたします。現在の教育では、小学生からITを活用する教育が振興されている中、本施設にもITを導入することで、利用者のニーズにさらに応えることが可能だと弊社は考えます。

また、もう一つ理由がございます。2020年には、プログラミングが義務教育の一環となる予定となっておりますので、本施設にITを導入することで、時代の変化にも対応することが可能となります。このように具体的な例を説明させていただきましたが、5年で複合施設全体にITを導入することにより、利用者ニーズに応じていくことが利用促進につながると考えておりますので、一つの柱として掲げさせていただいております。

以上のように、2本の柱を弊社の運営基本方針とさせていただき、本施設を活性化してまいります。

次に、自主事業計画についてご説明させていただきます。参考ページは9ページ、11ページになります。

まずは、公民館です。左上に掲載させていただいております資料ですが、弊社のカルチャースクールのチラシとなります。カルチャー教室には多種多様な講座を構えており、講師もその分多数弊社に在籍しております。カルチャー講師を派遣することでさまざまな奉仕プログラムを開催できますので、市民のニーズに応えることが可能となります。

一例を挙げさせていただきますと、憩いの家でカラオケ講師の派遣を実施いたします。カラオケ講師には複数の生徒がおります。複数の生徒と交流することで新たなコミュニケーションを発掘させる機会を設けます。これにより最終的には、上の公民館でカラオケ大会を開催することで、今までなかった事業を展開することが可能です。

また、作法室では、書道の講師を派遣し、書き初め大会のために日々腕を上げるように指導を徹底し、最終的には、左下のようなイベントをレクリエーションホールで開催することを目標とすることで、新規事業の開催を予定しております。

また、ものづくりのようなイベントも多くありますが、このようにカルチャー講師を派遣することによって、自主事業を実施してまいります。

次に、調理室です。調理室では、現業者が現在、児童向けの料理教室を実施しているようですが、弊社も子供向けの料理教室を継承し、さらなるイベントも開催予定です。右上のパンダあんまんをつくろうは、弊社既存施設の松戸市交流会館で実施した資料となります。

また、料理教室の稼働を上げていくためには、大人向けのプログラムを開催する予定としております。昨今、定年を迎えた高齢者男性の中で、料理を勉強している方が多いです。白井市にも必ずいると思います。しかし、初級者から気軽に入れる教室は余りないです。弊社は、初心者向けから上級者向けの料理教室の開催を検討しています。初心者向けの料理教室はタブレットを使用します。クックパッドのようなサイトを参考にし、簡単な料理をつくる機会を設けます。

上級者向けのプログラムとしては、弊社には調理師、栄養士が多数おりますので、調理師、栄養士が上級者向けのプログラムを開催いたします。最終的に、料理コンテストを本施設で開催し、優秀賞を得た料理に関しては、弊社グループの料理コンテストの1品として参加をいたします。コンテストに入賞した場合、弊社受託先グループでその料理が一般の方へ販売されます。本施設、近隣既存施設は、印旛北総病院の外来レストランを弊社が運営しておりますので、そちらで召し上がることが可能です。このように、調理室では自主事業を開催し、稼働を上げていく予定となります。

次に、視聴覚室と研修室になります。

視聴覚室では、下の児童館では、児童にタブレットの使用の仕方を児童厚生員が行うことで、もっと大画面で見たい、大勢で見たいという方が出てくると思います。ご家族、ご友人と大画面で楽しめる部屋づくりを予定しております。そのためにプロジェクターを導入いたします。プロジェクター導入により、企業の会議も視聴覚室で行うことが可能となります。今の時代、企業ではペーパーレスの時代ともなっておりますので、近隣企業のニーズに応えることも導入の要素になります。

研修室は、会議、打ち合わせの利用がメインとなりますが、弊社は5年で、先ほどの中高生ルームのような可動式の学習スペースとパソコンの導入を予定しております。

理由としては、中高生ルームの利用が多くなると予測しており、弊社既存施設の松戸市交流会館では、学習室は日々満席の状況となります。面積も本施設より幅が広いので、下の中高生ルームでは対応できないことを予測しております。ただし、場所貸しは白井市でルールがございますので、今後、白井市と協議させていただき、研修室のみを個人貸しもできるようにすることで、中高生にも対応ができると弊社は考えております。

次に、児童館です。幼児向けのイベントとして、親子で楽しめるイベントを予定しております。

一例を挙げさせていただきますと、親子で体づくりを開催いたします。体操を行ったりすることで、親子のコミュニケーションも図れますし、近隣の方との触れ合いの機会を設

けます。資料の右には、弊社が契約しております西山先生が定期的に本施設で相談会を行うことで、育児に悩んでいる主婦の方へサポートすることで、主婦の利用も上がると考えます。

話は変わりますが、入り口のロビーなどに本施設で作成したものを展示することはいかがでしょうか。老人憩いの家では、ものづくりも行います。児童館では、画面にも掲載されておりますが、オリジナルの絵本づくりのスポットイベントを開催いたします。ものづくりは、児童の主体性、社会性、創造性を豊かにします。この絵本も入り口ロビーに展示することで、イベント告知にもなるため、今はまだ知らなかった方も、利用する機会が増えると考えております。

学習サポートも実施予定です。基本は、楽しみながら行うことだと思います。

一例として、画面に掲載しております英語であそぼを導入することで、語学力の基本を身につけることができます。

また、ITでは、中高生ルームのパソコンの導入はもちろん、2020年のプログラミングの必修化のために、本施設でもサポートする体制を予定しております。画面にはプログラミング講座を学ぼうと掲載しております。児童館で基本を習得させ、保護者の要望があれば、公民館で講師を招いたプログラミング講座開催も予定しております。

老人憩いの家では、カルチャー講師による講座をメインといたします。先ほどご紹介させていただきました講座の一例を写真に掲載させていただいております。以上のような各施設の実施事業を行い、最終的には、各施設で習得したイベントを複合施設イベントとして開催し、市民の方の交流をさらに深めていきます。写真は、実際、弊社既存施設で実施した内容を掲載させていただいております。

以上のような自主事業を行い、新たな自主事業を行うことで、今までの利用者と新規の利用者が交流することにより、新たな公民館利用者の創出ができると弊社は考えております。これにより利用料金総収入の拡大を見込みまして、指定管理者の収入が年ごとに上がっていくと予測されております。

本来、この指定管理者の収入というのは、営業利益として企業が持つていくのですが、この指定管理期間に関しましては、利益を修繕に回していくことを弊社はお約束いたします。この利用料金をもとに修繕していく予定なのが、バリアフリーの推進や学習スペース、トイレの整備などです。

次に、類似施設運営実績のご説明をさせていただきます。参考ページは14ページです。

弊社は、児童館、児童センターを全国で667カ所受託させていただいております。複合施設は、指定管理者として全国で67カ所の受託をしております。

次に、弊社が運営しております関東圏内の他自治体から注目があり、実際見学に来ていただいている施設のご紹介をさせていただきます。

南鳩ヶ谷地域子育て支援センターでは、乳幼児向けのプログラムを開催しておりますの

で、本施設にも良いところを導入する予定です。

次に、松戸市市民交流会館のご説明をさせていただきます。

先ほど事例として幾つか挙げさせていただいております。こちらは、PFI事業で弊社が一から松戸市と協力しオープンした施設となります。

次に、日常点検による維持管理及びコスト縮減対策についてご説明させていただきます。13ページ、16ページが該当になります。

先ほど修繕を強化していくと説明いたしましたが、日々のチェックをしないと施設の老朽化が進行していきます。よって、日常のチェックを徹底することで未然に防止をすることが重要と弊社は考えます。

また、日常チェック点検により、法定点検以外の業者委託の実施回数を減らすことにより、コスト縮減につながると考えております。

次に、研修計画のご説明をさせていただきます。参考ページは17ページです。

こちらは、研修を実施することにより、職員の質を上げていきたいと思っております。入社時研修、現場研修、ブラッシュアップ研修、ステップアップ研修を主にメインとしております。

次に、個人情報保護法についてご説明させていただきます。参考ページは18ページになります。

弊社はPマークを8回更新しております。8回という実績は、民間企業では少数しかございません。それほど弊社は個人情報の管理を徹底しております。

次に、弊社の500の仕事のご紹介をさせていただきます。参考ページは20ページとなります。

弊社は500の仕事をも日本経済新聞に掲載しており、さまざまな分野でニーズに応じている総合サービス企業となります。500の仕事の中で、今回、本施設でご提案させていただきたい項目として、入りロビーに売店を設置することがあります。弊社は既存近隣施設として、白井聖仁会病院の売店を運営させていただいております。そこで商品を仕入れることによって仕入れ値を抑えることになり、自主事業の一環として挙げる事が可能となります。他社ですと、この事業はできないと考えております。ご利用者の中には、本施設内に売店があると便利と思う方が必ずいると思います。写真に掲載している商品を取り扱うことが可能で、利用者のニーズに合った商品を置くことを目標といたします。ご検討のほどよろしく願いいたします。

次に、様式6についてご説明をさせていただきます。21ページになります。

事前にご提出していた内容のとおり、指定管理者収入は5年ごとに上昇していく見込みとなります。人件費に関しては、夜間パートの時給上昇を見込み5年ごとに増額しております。最終的に、弊社基準利益が3年で届く見込みとなっております。基準利益に達した額を先ほどご説明させていただいたとおり、修繕に当て込む予定となっております。

また、年ごとに指定管理の削減も行っております。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

続きまして、176ページから178ページに関しまして、様式12、13のところの補足として説明をさせていただきます。数字に関しては、176ページから178ページをご覧ください。

177ページに掲載されております流動比率からグラフ化しております。おおむね160%から180%の中で推移しております。短期的な支払い能力としては、十分にあると思っております。

次に、当座比率です。弊社は社会サービスを中心としている会社のため、固定資産の比率が非常に低くなっております。それにより、当座比率も流動比率に準じまして140%から170%の範囲で推移をしております。

次に、総資本対自己資本比率に関しましては、40%台を推移している状況です。

続きまして、固定比率に関しましては、20%台を維持している形になっております。

続きまして、収益性の分析のところになります。178ページになります。

売上総利益率に関しましては、10%から13%の間で推移している状況でございます。

次に、営業利益率としましては、1%から2.4%と、この3カ年で大きく伸ばしております。

続きまして、経常利益率も売上総営業利益率と同様に、右肩上がりとして1.3%から2.7%という形で推移をしております。

続きまして、当期純利益に関しましては、平成28年度から平成30年度にかけて大きく引き伸ばしております。こちらの収益性の分析をグラフ化したものがこちらになります。

一番左側、売上総利益率に関しましては、平成28年度から29年度の前年比率が124.5%、29年度から30年度に対して104.8%という形で伸びております。

右側に行きまして、営業利益に関しては、28年度から29年度に対しまして190.8%、29年度から30年度にかけまして135%、その右側の経常利益に関しましては、28年度から29年度に対しまして182%、29年度から30年度に対して131.8%。

そして、一番右側でございます当期純利益に関しましては、28年度から29年度に対して336%、29年度から30年度に対して132%と、いずれの指数もこの3カ年に関しましては、右肩上がりでしっかりと成長してきております。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

続きまして、事業活動計算書、事業報告、資金収支当初予算書、事業計画などについてご説明させていただきます。対象ページは124ページとなっております。

表中の左側、売り上げと原価の冒頭にあります社会サービスをまずご説明させていただきます。

弊社グループは先ほどご紹介したとおり、500の仕事というものをやっております、

その関係上、複数の職種を受託しております。そのため、グループ内の差別化を図るために、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社が実施しております項目としましては、表中の社会サービスという形でひとくくりとさせていただいております。私どもの会社は、事業会社の中で、シダックス大新東ヒューマンサービス自身も、社会サービス事業と学童事業本部及び給食サービス事業という三つの柱で動いておりますけれども、ここに関しましてはひとくくりとなっておりますので、細目となっていないということだけご承知おきいただきたいと思っております。

では、表の中のご説明をさせていただきます。昨年度ですけれども、売り上げは242億6,592万8,000円、売上総利益としましては28億3,758万1,000円、営業利益は5億7,424万4,000円で着地をしております。

また、その実績を踏まえまして、今年度の予算化したものですけれども、今年度につきましては、売り上げ257億6,062万9,000円、売上総利益としましては29億6,727万7,000円、営業利益としましては7億1,167万円で予定しました。

昨年度との対比を申し上げます。昨年度に比較いたしまして、売り上げは14億9,470万1,000円、売上総利益としましては1億2,969万6,000円、営業利益としまして1億3,742万6,000円にて予算化しております。この数字は、私ども会社の中では決して無理な数字ではなく、十分に必達可能な数字と考えております。

また、こちらの予算化したものを実現するための重点推進項目といたしまして、表の中の下のように記載させていただいております。

施設管理、こちらですけれども、私ども社内では、社会サービス事業と呼んでおります。こちらですが、観光セグメントの強化。町村をターゲットとしたトータル提案。市町村ではなくて、町村としているのは理由がございます。この理由と申し上げますのが、非正規職員に対する会計年度任用職員制度というものがございます。こちらが、市よりも遥かに町村のほうが深刻な悩みであるがために、私ども500の仕事を使ったノウハウ、また私どもの実績から踏まえたいろいろなご提案ができるのではないかとということで、町村をあえてターゲットと今回はさせていただいております。

次に、学校給食のご説明をさせていただきます。

こちらですが、栄養士業務の獲得。昨今、調理業務だけではなく、栄養士業務もだんだんと増えてきておりますので、そういったものを獲得していこうと。

また、作業工程のIT化。こちらでもIT化を推進させていただいております。そうしたことによって次世代を見据えた対応をしていこうと。

また、当然ですが、今まで私ども創業以来、食中毒ゼロでございます。食中毒ゼロの周知継続のために、衛生講習会をさらにブラッシュアップしていこうと、そういったことを目標として、目的として掲げております。

続きまして、学童保育になります。

るいはお金がなかなか回収できないといったことがありますけれども、自治体さんというのは、予算化された中から執行されております。会社としては、当初予定した金額がそのまま収入として入ってくるという担保があるのがメリットですから、そういった中で、民間さんからは、取れるだけ取ろうというふうには考えますけれども、自治体さんからはそういったことは余り考えません。

●委員

お話を聞いていたら、本当に大丈夫かなという気持ちと、駅前で場所もいいところですから。だから、やり方によっては、いい商いができるかなというか、そんな感じを受けます。

●委員

施設の修繕については、私自身の考え方でいけば、本来その施設の所有者である市がきちっとやるべきだという考え方です。だから、それを市民に負担させるということは、要は本来税金でやるべきものを市民が負担しなきゃいけなくなっちゃう。その辺のところはどういうふうに考えていますか。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

弊社としては、最初に現地説明会をさせていただいた際に、施設の修繕のてこ入れができるかなと思って、であれば、弊社基準利益を設けたところで修繕に回していこうというお話にもなっているのですけれども、例えばそれが白井市市民の考え方で、この例えば一般基準利益を得た中でそれを返還していただきたいというお話があれば、それは逆に返還という形もできます。ただ、その分修繕が弊社で提案できなくなってしまいますので、白井市と市民との協議というところで変更することが可能となります。

●委員

修繕の仕方や中身によっても違うと思います。大規模な修繕の場合は、当然市が負担することになると思うのですけれども。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

ここに関しましては、当然仕様書にもございますけれども、金額以上のものは当然市と協議させていただきます。しかしかといって、利用している中で、細々としたところで改善というのはできるかなと思っておりまして、そういうところを利用者目線でよく変えていけるものを修繕としてやっていきたいと考えております。

●会長

その点に関して、会計学的な処理で、その費用の支出で収益的支出と資本的支出というのがあって、一定の金額においては資本的収支になりますよね。それはどのくらいの金額を見ているのか。基本的に資本的支出の場合は、市に寄附するというか、そういう形になると思います。あるいは、そうしないと、その場合市が、はい、わかりましたと言うのかな。一部質問が似ているのですけれども、白井市民が負担するのか、市が負担するのかと

いう話、あなた方が会計処理する上に当たって、収益的支出というのか、ライター一つ買うくらいだったら、別にそれは収益的支出、資本的支出は、例えば一定金額以上のものをやると、フローリングを変えると一定金額以上かかると思う。それは提案だけなのか、あるいは実際に負担してもらうのか、建てかえるのか、その辺のことについてもきちんと説明していただきたい。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

基本的には、先ほどから申し上げておりますとおり、余剰をいただくつもりはないです。私どもの会計処理は、社内での話ですけれども、こちらとしましては、収入と支出、この二つだけの区分けなのです。だから、収入の中から修繕費として当て込めば、それが支出に変わります。あとは、基本的な考え方としまして、実際に施設を利用されるのは市民の方々であり、利用者の方々だと思えますから、そういった方々に見える化として、私どもとしては改善していこうと考えています。これが大なり小なりというのはあると思えます。これによって、当然市とご相談してやらなきゃいけない部分もあると思えますけれども、少なくとも市のほうは別として、私ども社内のほうではクリアになっていますので、そこはご安心いただきたいと思います。

●会長

それを、市が受けるかどうかはまた別ですよ。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

そうです。それはまた協議させていただきたいと思えます。

●会長

わかりました。私のほうからは以上です。

はい。清水委員

●委員

今の話ですけれども、それは十分に収益があった場合の話であって、もしそれが計画どおりに収益が見込めなかった場合には、このような修繕とかそういうのは、行われないうことですか。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

私どもご提案した以上は、仮に赤字になっても修繕のほうはしていきます。ただ、内容については、精査させていただきたいと思えます。

先ほど申し上げたとおり、利用者の方々に見える化という形で返していきたいと思っておりますので、それが大きなものとして見えるのか、小さなものになるのか、そこは実際の数値によるかと思えます。私どもとしましては、それを担保するだけのいろいろなご提案をさせていただきたいと思うのですけれども、ただ、これは残念ながら市民の方々、利用者の方々に受け入れられないご提案だった場合、当然利益は追えないと思えますから、そういったときに内容をまた精査して、私どものほうから、違った目線からまたご提案をさ

せていただいて、市のほうで許可をいただいたものについては、それを実施していく。それがまたいい方向で変わっていけば、冒頭から申し上げているような形が成り立ちますし、収支が改善できるように当然やっていきます。

あと、収支が改善するというよりも、むしろできると考えてご提案していますので、最悪の場合は、当然ですけれども、会社が赤字になろうと、しっかりと事業期間中はさせていただきますし、市民の方々にも、こういった形で変わりましたということは告知していきたいと思っていますので、ご安心ください。

●会長

岡村委員、どうですか。

●委員

今のプレゼンテーションは今現在の我々の公民館感覚からすると、非常に斬新なことが多いです。お願いすることになった場合売店を置くとかITだとか、スタイルと雰囲気が大分違う形になるイメージを持つのですけれども、そのことについて幾つか聞きたいことがあります。

指定管理申請された今回、プレゼンに参加されたわけですが、以前も説明会に参加いただいて、施設自体の老朽化や修繕のことが話題になっていたということです。今日はどういう動機で、名乗りを上げられたのでしょうか。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

私どもグループ全体の基本理念としましては、社会問題解決型企業として、いろいろな問題が起こっているものについて、自治体さんと一緒に協働して問題を提起して、こちらから改善策等を提案しながら一緒に改善していこうという、ソリューションカンパニーという言い方をしておりますけれども、私どもはそういったことを根底に持っております。

実際に施設を見学させていただいた中で、施設自体、非常に利用者の方も多くいらっしゃいましたし、駅前という立地条件と、私どもから見た中で、まだまだてこ入れするべきところがあるのかなという考え方をもちました。これは市民のためだと思います。

あともう一つ、私どもとしましては、先ほどから申し上げているように、主なターゲットを自治体さんが主な取引先になっておりますけれども、ただ残念ながら、今現時点、白井市様とのお取引が存在しておりません。ですので、ぜひとも白井様にも、私どものシダックスグループのよさというものを知っていただきたいと考えています。

ですので、一つは、市民の利用者の方に還元していくため、またもう一つは、私どもの会社そもそもの考え方ですね。ソリューションカンパニーとして何かをご提案していこうという考え方、もう一つが、白井市様との新たな取引ですね。そういったものをぜひやっていきたいという思いから、今回提案させていただいたという形になっております。よろしく申し上げます。

●委員

5年たって、次の請負ができなかったとしても、今までお話ししていただいたのとリスクを考えてもやるということですね。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

それは当然です。

●委員

あと、中身のところなのですけど、ITという言葉がたくさん出ましたが、パソコンを2台入れますとって、2台置いて、置きましたで、いい仕事しましたということなのか、それとも、置いてどう使うのかという、そういうビジョンも含めていかがですか。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

ビジョンとしては、私が今考えている中で、小学校はさておき中学校、高校になると、情報研究室みたいなものがあるので、パソコンを使う機会というのが非常に多くなってくると思うのです。今回職員の配置をさせていただいておりますのは、児童厚生員になります。児童厚生員は基本的にはパソコンはできますので、学校で教育するのは、ワード、エクセルの何になるのかが定かではないのですけれども、そちらを情報収集しまして、児童厚生員が児童館を利用して教育できるような仕組みを今現在模索している段階でございます。

●委員

具体的な実践事例があるというわけでもないのですか。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

そうです。

●委員

例えば、今おっしゃったようにワードとかエクセルの教育をするとか、そういうことはわかったけれども、その具体的なものがない。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

実際、千葉県内としましては、まだこういった案件は成約していないところではあるのですけれども、社内的に申し上げますと、これからの子供たちのためにこういった教育をやっているかというのは、先ほど私がご説明した三つの事業本部の中の学童事業本部というところで推進しております。そういった中から全国的には事例がございます。実際講師を派遣しまして、プログラミングなど、そういったことは実際やっておりますし、それが子供たちにとって、教育としてこういった成果が出ていくのかというのは、これはすぐに結果が出るものではないですから、徐々に今そういったものをモニタリングしながら、私どものかかわり方ややり方というのを今社内で統一化を図っている状況ではございます。

●委員

置くところから始めて、置いてどうなるかという、形から入るということですね。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

あとは、実際こちらの施設を利用されている子供たちの使い方というのも、この辺も当

然見ていかなきゃいけません。私どもが大人目線で、これはこういうふうに使いなさいと押しつけるものが決していいとも思っていないものですから、まずは子供たちに触れさせる機会を設けるということが大事かなと考えております。

●委員

わかりました。ありがとうございます。

●委員

ちょっと細かいことなのですが、22ページの人件費内訳表ですか。これの年法定福利費の健康保険なのですが、これがやたら高いのです。個人負担は給与から引くわけですから、会社負担分だけなので、ちょっと高過ぎます。多分これは計算間違いか何かだと思うのですが、いかがですか

あと、労働保険のほうが少なめなのです。もう一度見直しをしていただいたほうがいいと思います。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

そうですね。申しわけございません。この健康保険と労働保険の差額だと思います。

●会長

説明になかったのでグループの親会社のシダックスの有価証券報告書を拝見しますと、どんな会社かなと思って、連結決算を見ると、最近5期のうち4期がずっと赤字なのですよね。売上が大体、ピークが2015年で1,745億、今の売上げが1,282億円。赤字が4期続いていて、今営業所長さんがおっしゃったような社会貢献とか何とか言っても、当然シダックスの本社からは、シダックス大新東ヒューマンサービスに対して、貢献も認められていると思うのです。それに対して、今お話をお聞きすると、市役所との仕事をとれば赤字でも構わないと。社会貢献なのだ。それは会社の理念なのだおっしゃっていたけれども、一方でシダックスの株主から見れば、危なっかしい感じがしますよね。こういう経営を続けると、果たして企業が存続できるのかという株主の立場から見たら。ちなみに今株価は幾らですか。私見ていなかった。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

220円か230円だと思います。

●会長

ちょっと厳しいですよ、かつての勢いから見ると。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

以前は1,000円という形でしたから、そういった意味では激減しているのは事実かなと思います。

●会長

大変失礼なのですが、紆余曲折があって、なかなか企業研究をすればおもしろい、それが一つ。

と、ご質問の中にありました観光事業の日光江戸村さん。こちらにつきましては、大新東の創業者が、当初観光事業に力を入れていこうということで作ったのが日光江戸村、あと伊勢戦国時代村とかありましたけれども、こちらも本当にバブルのころは非常によかったのですけれども、年とともにだんだんそこは景気が悪くなってきた。そういった中で、一度私どもの大新東株式会社自体が、1回ファンドを入れまして、その中で事業編成を行ったのです。そのときにこちらの観光事業、江戸村のほうは切り離しをされています。江戸村自体は、当時の創業者の一族の方々がいまだにやっております、私ども大新東とも、まだそういった意味ではつき合いがありますから、家族で、うちのスタッフたちをみんなて慰安旅行として行ったりとか、そういったことで江戸村は使わせていただいております。

ですので、今は残念ながら江戸村だけにはなってしまったのですけれども、ただ、江戸村は、お調べいただければすぐわかると思うのですけれども、非常に外国の方々がここ近年よく来ていただいております、江戸村自体は、今非常に業績がよくなっています。

●会長

すみません、質疑応対中ですが、時間がないので、追加で質問します。

●委員

職員の配置についてお伺いしたいのですが、17ページと36ページになります。

実際にシダックスさんが指定管理者になったときに備えて、管理責任者とか事務職員さんとか、その辺の人員は、もう既にお考えになっているのでしょうか。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

責任者クラスというのは、目星はつけております。実際ほかの施設で今現在やっている者にはなりません。ただ、それはあくまで目星ではあります。確約という形にはまだ至っておりませんから、具体的なプロフィールはまだ載せさせていただいておりません。

ただ、基本的には、私ども、白井市さんとは残念ながらお取引ないですけれども、ほかにもいろいろ、特に今回、学童保育事業が非常に伸びているので、児童厚生員に当たる部分については、非常に私ども職員を多く持っておりますので、そういった中からの異動は考えておりますし、また、今現在やってらっしゃる方もいらっしゃるもので、もし私どもがお任せいただけるとなった場合には、まず今の方々が、転籍する意思のあるなし、そういったものは確認させていただきたいと思っております。

あと、次に念頭に入れなきゃいけないのは、当然ですけれども市民の方々の雇用ですね。そういったことは当然だと思っておりますから、そういったものを鑑みて、総合的にどれだけの方々が応募いただけるのか、手を挙げていただけるかによって、私どもの中から社内異動を用いるのか、今の人たちを採用して雇用していくのか、そういったことは検討させていただきたいと考えております。

●委員

あと、募集要項のほうには、社会教育主事資格者を配置するとなっているのですが、こ

どうもありがとうございました。

●シダックス大新東ヒューマンサービス

どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

●事務局

以上で審査終了になります。

(応募団体 退室・休憩)

(応募団体入室)

●事務局

それでは、これより白井市白井駅前センターの指定管理者の候補者の選定に係る審査を開始いたします。

審査に当たり、事務局から留意事項を説明させていただきます。

審査は、団体からのプレゼンテーションが30分、委員からの質疑が30分の合計60分とします。

プレゼンテーションについては、団体の概要書、事業計画書、収支計算書の順で行い、必ず資料右上のページ番号をおっしゃってください。

審査は、事業計画書、収支計算書ごとに行います。よって、事業計画書等から逸脱したプレゼンテーションは、適正な審査ができませんので、ご注意願います。

また、事務局がベルを鳴らしましたら、終了5分前の合図になります。2回目のベルで30分経過となりますので、そこでプレゼンテーションを終了してください。

それでは、ここから30分間計らせていただきますので、よろしくお願いいたします。

●ワーカーズコープ

それでは、特定営利活動法人ワーカーズコープのご提案をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

私は、特定非営利活動法人ワーカーズコープセンター事業団、東関東事業本部の安村と申します。よろしくお願いいたします。

●ワーカーズコープ

私は、白井地域福祉事業所所長の石川伸樹と申します。よろしくお願いいたします。

●ワーカーズコープ

白井駅前センター、センター長の高安です。よろしくお願いいたします。

●ワーカーズコープ

それでは、最初に4ページに入りまして、団体の概要書について説明させていただきたいと思えます。

私たちワーカーズコープは、NPO法人として、就労者数約4,000人、3法人合わせますと、組合員数6,000人強、さまざまな働き方を含めますと、約1万人就労しております。

続きまして、6ページをご覧ください。

私たちワーカーズコープは、生協さんや農協さんと同じ協同組合です。特徴的なこととしましては、みんなで出資し、みずからが働き、そして全員が経営に責任を持つというのがありまして、常勤、非常勤にかかわらず、一人一票の原則が貫かれております。

続いて、7ページです。

上の左の1番なのですけれども、働く人が主人公となり、地域を豊かにする働き方として、働く者同士の協同、市民、利用者との協同、それから地域との協同という三つの協同を大切にしております。これら三つの協同を通しまして、誰もが安心して暮らせるまちづくりを行ってまいります。

続きまして、9ページをご覧ください。

事業分野別で言いますと、子育て分野が全体の3分の1と一番多く、ここ10年で一番大きく伸びた分野となります。そのほか公共施設管理運営や高齢者・障害者の生活支援、自立就労支援相談、それから食事業など幅広い分野について運営しており、全国組織としましては、16の事業本部、約370カ所の事業所、事業高にして約213億円、従業員数は1万人で展開しております。

また、東関東事業本部としましては、お手元17ページから18ページにございますように、千葉と茨城2県18現場で、子育て事業を初めとして、エネルギー関連なども含めさまざまな業種で携わらせていただいております。

続きまして、19ページの事業計画です。述べるに当たって、その前に地域課題について触れさせていただきたいと思っております。パワーポイントをご覧ください。

一つ目としまして、6月に組織として笠井市長と懇談させていただいた際、笠井市長が課題として、地域コミュニティの再生ということを挙げられていらっしゃいました。よい地域とは、その人の思いや活動が大事であり、何でも行政に頼り切るのではなく、行政、企業、住民が三位一体となって主体的に取り組む必要があるとお話しされておりました。

それから、二つ目の課題としましては、これは白井市に限ったことではありませんが、社会の変化として、これから少子高齢化、人口減少の時代を迎えつつあります。人、物、金など資源に限られる中で、そうした資源が活躍することが必要となってきます。特に人の部分になってくるかと思っております。

それらをあわせて地域コミュニティの質の向上へつなげるためには、やはりこの町で子育てをしたいというだけではなく、帰ってきたい、住み続けたい、そういう地域としていかななくてはなりません。

私たちが今後5年間を通していきたい事業を一言でまとめると、やりたいが地域を変え

る、地域の課題は地域の人たちと解決する、まちづくりの拠点としての駅前センターをつくっていききたいと考えております。

ですので、19ページの五つの方針で言えることは、中心はやはり人であり、関係性を重視する内容となっております。

また、「1複合施設として」からにあるように、幅広い世代の多様な人々が活躍する拠点としての役割を果たしてまいります。

これら内容を持続可能なまちづくりにつなげて事業を展開していききたいと考えております。今映しているものは、国連の提唱するSDGs、持続可能な開発目標についてです。これらの目標を自主事業にも取り入れて行っておりますが、特に17番、パートナーシップで目標達成しようというのがあり、駅前センターが持続可能なまちづくりの拠点として活躍するために、笠井市長のお言葉をおかりすれば、オール白井で、それからワーカーズの言葉で言えば、三つの協同を通して実現していききたいと考えております。

続きまして、市民サービスについて、センター長の高安からご説明させていただきます。

●ワーカーズコープ

それでは、様式5-2、20ページをご覧ください。

市民サービスの向上方法について。館として市民のさまざまなやりたいこと、出会いを応援し、地域活動のサポートやその担い手づくりを目指して活動していききたいと考えています。その方法として、知る、学ぶ、集う、結ぶ、発信するという意識しながら活動していきます。

様式5-3、21ページをご覧ください。

利用者ニーズの把握方法と対応について。私たちは日々の挨拶や利用者との何気ない会話を大切にします。その中にニーズや困りごとがあると考え、アセスメントとして業務日誌に記録します。そして、朝礼や終礼、ミーティングで気づきを共有します。常勤、非常勤との隔てがなく意見を出し合い、サービスの向上に努めていきます。そのほか、アンケートの活用、窓口にみんなの声を聞かせてくださいの箱の設置、利用団体連絡会の開催等々からニーズを把握し、企画や運営に反映させていきます。利用者の苦情は、サービスの質の改善や利用者の安全配慮に当たっての有効な情報提供と位置づけ、センター運営のサービス改善に役立てます。

様式5-4、25ページをご覧ください。

自主事業の実施計画について。複合施設として白井市の将来像「ときめきとみどりあふれる快活都市」の実現に向け、安心、健康、快適を基本理念に多彩な事業を展開していきます。

こちらが白井市の第5次総合計画です。重点戦略である若い世代定住プロジェクト、みどり活用プロジェクト、拠点創造プロジェクトを意識して、講座を企画運営していきます。

まず、拠点創造プロジェクトとして行っているのが、白井駅前ミュージックフェア輪音

です。演奏する人と観覧者、会場に集まった人々全てが気軽にまちづくりに参加することができるよう、「ときめきとみどりあふれる快活都市」をキーワードに進めていきます。駅前商店会ともチャリティーでつながる手づくりのイベントです。

各バンドが実行委員となり、各々が役割を持って運営していきます。その実行委員の一人が、公民館自主事業バンドチャレンジ講座の参加者です。講師は地域の現役のパパです。講座には、年齢や楽器の経験値などさまざまな参加者が集まり、楽器演奏を通して世代間交流を図っていきます。また、講師の協力によりバンド演奏に参加することで、相手を思いやるなど、青少年の心の成長につなげることができました。そして、その成果を輪音で発表。地域の大人がレクチャーし、小さい子から高齢者まで、やりたいという思いのもと、まちづくりに関わったことは、子供たちにとって貴重な経験であり、生きる力を身につける機会にもなったと思います。

白井駅前イルミネーションに駅前商店会を通じてチャリティーに協力したことで、ふるさと白井への関心がアップしました。

こちらが、バンドチャレンジ講座のメンバーの事例です。

白井市第5次総合計画、みどり活用プロジェクト、グリーンフェスにも参加し、環境や自然問題にも取り組みました。そして、郷土愛の熟成にもつながりました。

続いて、若い世代定住プロジェクトとしての取り組みをご紹介します。

月齢ごとに分けて集いやすい場の提供を行います。ピクニックルーム、保護者が地域で孤立せずに子育てできるよう交流を深め、不安の解消につなげることが目的です。

こちらはベイビータイムです。

異年齢の子供同士が交流するための遊びも提供しています。チビちゃんポケットです。

児童館のボランティア事業として行っているのがジョイ・キッズです。桜台に西アフリカのブルキナファソを応援している団体があったので、実際に団体の代表から国の様子を聞きました。参加した子供たちは、学区や学年の枠を超えて、国際社会についても学びながら活動しています。子供たちがつくった作品をセンターフェスティバルで販売し、それを寄附しております。

続いて、トライアカデミーは、おもちゃ病院を行っていた方の発案で始まりました。その方は県外に行かれてしまいましたが、その意志を継いで地域の工作の得意な方々が、子供たちにもものづくりの楽しさを教えてくれています。いろいろな地域からの参加があり、学年学区にかかわらず、工作活動を通して教え合い、交流が深まります。ここに参加していた子が中学生になっても手伝いに来ています。子供たちの学びの場のみならず、技術や知識を持った市民の活躍の場にもなっています。

児童館合同事業のハロウィンの様子です。初めて館を出て駅前商店会まで歩き、合言葉を言ってお菓子をいただきました。いろいろな方が次世代の子供たちのために協力してくださいました。老人憩いの家に遊びに来ていた高齢者や、地域包括支援センターの方から

もお菓子をいただき、地域みんなで次世代の子供たちを育てていきたいと思っています。

当館利用サークルの方が講師になって、子供たちの健全育成のために協力してくれました子供将棋教室。

夏まつりでは、小中高生が地域活動のために活躍してくれました。右上は、夏祭りのボランティアの面々です。31名も協力してくださいました。

また、高齢者にも安心できる居場所の提供と充実したシニアライフを応援していきます。こちらの講座も、主に地域の方やセンター利用者が講師です。

スマホ講座の様子です。

藍染教室も、講師は白井高校藍染研究会の方々が講師です。

クラシックって楽しいよは、市民のやりたいという思いから始まり、コーディネーターも地域の方です。講座からサークルになり、クラシック鑑賞を楽しんでいます。こちらは、参加者の声に応じて継続している事業です。企画段階から地域の方がかかわってくれています。日ごろ公民館を利用しない方々がたくさん来館してくださいました。

市の環境課が電気自動車を展示して、環境問題についても考えました。それに、西白井にある中央自動車大学校にご協力いただき、車に関するお話、ラリーカーの展示等々、この事業を機に子育て事業にも参加してくださるパパがおり、利用者の掘り起こしにもつながりました。

サロンふらっとの様子です。左側は、公民館をいつも利用している朗読サロンが担当したときの写真です。右は、駅前センタースタッフ、劇団3人が担当したときの様子です。事務所や図書室で接している身近な職員なので、市民の方々に大変喜んでいただきました。

こちらは、日ごろの成果を発表できる駅前センターフェスティバルの様相です。それ以外に市民活動団体と協働事業として、おはなしバスケットさんによるお話会や、同じくふれあいカフェテラスおあしすさんとサロンを行っていきます。

このように、やりたいが地域を変える、地域課題は地域の人たちと解決するをコンセプトに、得意なことで市民が地域を応援できる自主事業を企画していきます。

様式5-5、26ページをご覧ください。

緊急時の対応について。危機管理に関すること。法人の危機管理マニュアルにのっとり現場での研修を継続していきます。リスクマネジメントを行う上で、ヒヤリハットを重要なものと捉え、ヒヤリハットの事例を記録し、現場のみならず、東関東全事業所でも共有して、あらゆる事故を未然に防ぐように努めていきます。

防災計画をきちんと立てます。計画にのっとり防災訓練を行います。利用者の参加協力も呼びかけ、いざというときに備えていきます。

そのほか、緊急時は市と連携をするほか、万が一に備えて各種保険にも入っております。全国公民館保険に加入し、利用者のけが等に対応していきます。

様式5-6、43ページをご覧ください。

利用促進の方法について。複合施設として清潔で安全な明るいセンターを目指します。また、狭いロビーですが、駅前ファンド、ロビーカフェとして活用します。

そのほか、ホームページやブログの活用、各イベントの積極的な参加と開催、駅前センターだよりや児童館だよりの発行等を通して利用促進をしていきます。

様式5-7、44ページをご覧ください。

「利用料金について」しばらくは現行どおりと考えています。減免や還付については、公民館、センターの統一事項に基づき、適切な措置を行っていきます。

様式5-8、45ページをご覧ください。

効率的な職員配置と主体的な働き方を大切にします。職員の配置については、募集要項に定められた人数を確保した上で、その日の自主事業や会議等の予定を考慮して適正な勤務体制をとります。館運営に協力してくださる皆さんを駅前ボランティアと考え、力を合わせて駅前センターを地域の拠点としていきます。これまで述べたように、自主事業の協力のほか、館前の花壇には寄せ植えを行っているサークルの協力、ロビーの花にはフラワーアレンジメントのサークル、駐車場の美化には市民の方が、多方面にわたり市民力を発揮してくださっています。

また、小中学生や高校生が地域とつながるきっかけとしてボランティアに協力してもらい、地域力を育んでいきます。

写真は、先日の台風15号通過翌日の駅前センターの駐車場です。出勤すると、落ち葉もなく大変きれいでした。地域の方のご協力に、職員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。

そのほか、サービスの質を落とさず、コスト削減に向けて努力していきます。

様式5-9、46ページをご覧ください。

市内では、西白井複合センターを平成22年4月から管理運営しております。この4月から5年間、引き続きワーカーズコープが指定管理を任されております。西白井複合センターと協力し合って地域のために頑張っていきます。

そのほか、千葉県神崎町、神崎わくわく西の城初め、近隣では、都内の文京区、荒川区、新宿区でも複合施設の管理運営を行っております。

様式5-10、47ページをご覧ください。

私たちは、駅前センターを指定管理者として運営開始以来、多くの市民、利用者の皆様と出会い、さまざまな貴重な体験をさせていただきました。市民、地域と一緒に活動してきた実績と、そこから生まれたネットワークから、今後新たな展開をつくり出していきたいと考えております。まちづくりのため、チャリティーを目的とした事業を引き続き実施していきます。先ほど紹介した音楽イベント輪音ですが、毎年チャリティー先は駅前商店会です。年末の白井駅前を明るく照らしています。

昨年度のイルミネーションの様子です。年を増すごとに市民の目を楽しませています。会を重ねるごとに、音楽を通してたくさんの団体や市民がつながり、ときめきがあふれる

まちづくりにつながっています。

また、このような活動がきっかけで、商店会の皆様が点灯時間を延長してくださるようになりました。これまでは年末のみでしたが、年明けも光り輝いています。今年も8月17日に、白井駅前商店会の武田会長に皆様の温かいお気持ちを届けてきました。駅前の大きなボードやホームページブログで、ご協力いただいた皆様に報告しております。

このチャリティーの中には、駅前ファンドとしての取り組みも含まれています。駅前ファンドとは、当館独自のコミュニティファンドです。飲み物の提供を通じて、経費を除いた分の売り上げを地域に還元できるシステムです。狭いロビーですが、毎日のように高齢者、男性の方たちがロビーに集まっております。これまで学習支援団体や子どもランチ会にも寄附してきました。

様式5-11、48ページをご覧ください。

施設設備の維持管理について。駅前センターは30年以上経過した館です。だからこそ日々の点検が大切だと考えています。職員みずからがその施設の清掃に携わることで、施設のさまざまな不備や不具合にも気づくことができます。したがって、可能な限り自分たちで清掃を行えるような体制をつくり、施設の美化と衛生管理を行います。職員が清掃を通して施設に愛着を持ち、利用者さんに気持ちよく施設を使ってもらいたいという気持ちを高め、市民サービスを高めることへとつなげます。設備についても、管理業者と点検管理をしっかり行っていきます。

様式5-12、49ページをご覧ください。

管理体制について。駅前センターのより安定した管理運営遂行を目指し、様式7、71ページから73ページ、職員配置体制で臨みたいと考えています。

管理体制は、基本的に5年間同様とします。年次が経過し、実戦の中でより有効なあり方が望ましい場合には、白井市と相談の上、変更していくことを検討いたします。

また、スタッフの研修については、市民によりよいサービスを提供できるように真摯に臨みます。具体的には、そちらに書かれております研修計画をご参照ください。

私たちワーカーズコープは、毎年、日々の仕事の実践を振り返り、さらにより働き方をするために、良い仕事研究交流集会を実施しています。昨年度は、1月27日、千葉大学、3月2日、3日、駒沢大学で開催しました。東関東や全国の先進事例について、研究者、部外団体も交えて情報を共有し、学び合います。今年度の白井での研修としては、外部講師を招いて、地域づくりコーディネーター、防犯対策、接遇について学びます。

様式5-13、56ページをご覧ください。

個人情報保護について。白井市の個人情報保護規程を遵守し、法人としても個人情報保護規程を策定し、個人情報の保護に努めていきます。ほか詳細は、56ページをご参照ください。

様式5-14、57ページをご覧ください。

ご清聴ありがとうございました。

●会長

ありがとうございました。これから我々のほうから質問させていただきます。

●委員

あそこで働かれている方々は、白井市民の方が多いのですか。今のお話の中でも、こういう言い方はいいのかどうか、正規、非正規みたいな言い方ありますけれども、そういう方も含めて、市民の方が多いですか。

●ワーカーズコープ

ほとんど市民です。夜勤も関係なく。

●ワーカーズコープ

皆さん組合員になられていまして、市内です。

●ワーカーズコープ

あとは、近隣の松戸市と柏市という感じです。

●委員

ありがとうございます。また後で、一つ伺いたいので、今整理しています。

●委員

71ページの職員の配置計画ですけれど、これは市の募集要項の中の配置計画と比べて、例えば常勤の職員の方も3名ぐらい多いですよ。これは業務量が人数分だけあるということなのですか。

●ワーカーズコープ

やはり自主事業も多く行っていますので、そういった面で、多くしています。自主事業をやっている間は、その時間を埋める窓口要員が必要となってきますので、そのための人数を多くしているというのがあります。

●ワーカーズコープ

それから、駅前の特徴としまして、遊学と言って中学生、高校生の児童館を開放しておりますので、その分職員が増えております。

●ワーカーズコープ

あと、市民の声にできるだけ応えるということで、自主事業に大変力を入れておられて、そこで当然、石川の申し上げたとおり、自主事業に力を入れるという上で、どうしても配置が少し多めに必要だということでこのような形になっております。

●委員

その関連で、69ページの人件費の内訳なのですけれども、時間単価で行くと10月から、最低賃金が923円になるのです。今後毎年、最低賃金も増えていくと思うので、これだとちょっと。これがずっと5年間、多分続けていくことは難しいと思うのです。その辺のところは、どういうふうを考えられていますか。

●ワーカーズコープ

当然最低賃金は守りながらやっていくことになるわけなのですが、自主事業にも力を入れつつというところになりますので、吸収できるところは吸収しながら、法人努力というか、吸収をしながらやっていくというところや、法人内の努力で経費を削りながら、できるだけ給与というか、そこを上げられるような形にはしていきたいということで思っております。

●ワーカーズコープ

また、効率的な働き方を考えて、時短とか考えていきたいと思えます。

●ワーカーズコープ

ですので、人員を増やしたことによって、時間的な余裕もあって、それによって仕事以外の時間も多くとれるようになって、やはり人が少なかったときは休みづらいというか、そういった雰囲気もあったのですけれども、そういった面も含めて常勤の数を増やしております。

●委員

今のお話を聞いていると、自主事業とか、市民の要望に応じてそういうのを充実させていくと、逆にそっちの人件費とか、そっちがかさんでしまうのかと聞こえるのですけれども、その辺はどうでしょうか。経費削減というので、市民サービスの低下とか、そういうものに反映されていかないかなという気もするのですが。

●ワーカーズコープ

自主事業といっても、先ほども言いましたけれども、市民の方がとても協力してくださるので、私たちスタッフだけの少ない人数でやるわけではなくて、地域みんなで協力ということで大変助かっております。無償で講師をやってくださったりする方など、地域みんなで活動団体さんとかも協力してくれたりしていますので、その辺は無理がないように進めて。また、ニーズを一番に捉えて、時代とともに変わってくると思うので、どの事業もずっと続けているというわけではなくて、アンケートとかでしっかりと情報をキャッチして、地域課題に合ったものを進めていきたいと考えております。

●会長

私からお聞きします。西白井複合センターと一緒にやっているのですね、グループとして。共同で、あるいはお互いに助け合うということで、そういう事業の実例がございますか。

●ワーカーズコープ

先ほどの人件費というのもありましたけれども、例えば自主事業でいうと、西白井の職員が駅前センターで講師を行ったりとか、そういうやりとりがあったり、お祭りのときはどうしても人手が足りませんので、センター祭りのときは人を借りたり。それから、逆に駅前センターに行ったり。それがお互い交流にもなりますし、勉強になりますので、そう

いった機会はございます。

●ワーカーズコープ

先ほどあったハロウィンも、西白井の児童館職員の方が協力してくださいました。

●ワーカーズコープ

あと今月は、市内の社会福祉法人のフラットさんのところのキラリフェスタというお祭りがあるのですけれども、それは両館から2人ずつ出て、そういった地域の活動にも参加させていただいております。

●委員

先ほどの説明で、施設が30年以上経過ということで、施設は老朽化していると思うのです。それに伴って、運営上不便なこととか、あるいは、こうしてほしいとか、何かそういうのであったときに、具体的にどうされますか。

●ワーカーズコープ

突然の大きな事故にならないように、軽症のときになるべく気づくように、毎月10日を安全点検日としまして、館内の見回りを分担して必ずチェックしています。

あと、突発的な修繕が入った場合は、大変経営も苦しくなるのですけれども、今のところ3.11のときも一応耐震ができておりましたので、それほど問題ありませんでしたし、この間の台風15号のときも、雨漏りするところは、養生しておいたので大丈夫でした。なので、私たち、自分たちで長年やってきたので、ここは危険というところは早めにキャッチして、直すようにしております。

●委員

この修繕の責任分担で、10万を超えるものは市のほうで支払うということですか。

●ワーカーズコープ

そうですね。

●委員

その辺のところ、市に要望したりされていますか。

●ワーカーズコープ

今、来年度の予算申請の時期なので、みんなで話し合っ、どこを来年度予算で取ってもらうかということを検討しております。

●会長

これグループ全体でご説明いただいたのですけれども、地域ごとに、あるいは受託している施設ごとに管理というか、そういうことをやっておられるわけですよね。

●ワーカーズコープ

はい。

●会長

差し支えない範囲で結構ですから、駅前センター、西白井複合センターは、実績として

どんな状況ですか。

●ワーカーズコープ

具体的な数字は今ありませんけども、厳しい経営状況であるのは間違いなくあります。今働いているメンバーで協力をしながら、出来るだけ消耗品だったり、光熱費であったり、削れるところは削りながら何とかやりくりをしているという形になっております。

●ワーカーズコープ

本部経費を削っております。

●ワーカーズコープ

管理費を少し削って何とかかんとかという形にはなっております。

●会長

ちょっと心もとない。

●ワーカーズコープ

館単体で見ると、ちょっとぎりぎりというか、そんな形にはなるのですけれども、法人全体で見ると、損益のところは大変厳しい状態ではありましたが、貸借対照表を見ると、そこまで緊急性のあるという形ではないかなというふうに認識をしているという状態です。

●委員

今、貸借対照表という言葉が出たので教えていただきたいのですが。135ページ、貸借対照表。右方科目で未払金というのがありますが、この金額が■■■もあるという。この数字がなければ素晴らしい企業だと思うのですが、この内容について、支障がなかったら教えていただけますか。

●ワーカーズコープ

細かなところは、担当に確認しないとはっきりわからないというのが現状なのですが、3月で締めるので、買掛金がここに計上されています。

●ワーカーズコープ

それが大体、西白井でも■■■■ぐらいあるので、全体ではそのぐらい行くと思います。

●ワーカーズコープ

電気代とかが本当は翌月に計上しないといけないものを前もって払っていたり、そういう形で恐らく未払金のところに計上されているという形であると思います。

●委員

前もって払わなくちゃならないのは、払わなくていいものなので。未払いじゃないでしょう。

●ワーカーズコープ

電気代とかが翌月の請求になるので、それが未払金として載せています。

●委員

電気料だけなのですか。

●ワーカーズコープ

電気も水道もみんな光熱費とかが全部です。

●ワーカーズコープ

掛けで買っているものがあります。光熱費もそうですし、消耗品とか家賃とか、掛けと
いうか、後で請求が来るものに関して、こういうふうな形でやっている。

●委員

それにしても、■■■ですから。売掛金が十何億ですけれども。そんなに詳しくないけ
れども、何億ずつとか、5億ずつが四つあるとかならわかるけれども、電気代と水道代で
は■■■というのは、僕個人の生活では考えられない数字なのだよ。

●ワーカーズコープ

全国に300以上の事業所がございますので、各々に家賃や光熱費であったりとかとい
う形でこういう形になっています。

●委員

わかりました。

●会長

従業員の方の定着率というのは。

●ワーカーズコープ

それは長く勤めていただいている方がいらっしゃいます、この3年間では1人夜勤の方
が、年齢と体調の面でやめられたというのがありますが、あとは安定して、ずっと長く勤
められたり、非常勤で勤められていた方もダブルワークされていたのですが、常勤となっ
て、こちらのほうに集中していただいたりとか、ディーセントワークというか、働きがい
という意味では、意味のあることをさせていただいているのかなというふうに感じており
ます。

●会長

センター長は何年勤めているのですか。

●ワーカーズコープ

11年目です。最初のことからです。指定管理をやり始めてから。

●会長

どんなところが気に入っていますか。

●ワーカーズコープ

市民がとても温かいのです。先ほどロビーのところの写真が映ったと思うのですが、
もう本当に、毎日コーヒーを、駅前センターはロビーに空調がないのでとても暑いのです
けれど、それでもみんなが集まって来てくれるところが、駅前が休みのときは困るなどか
言って、こんなに男性の方が、毎日駅前に立ち寄ってくれるというのがとても嬉しくて、
とても協力的でした。昨日は、サロンで国宝についてやったのですが、そのときも

このメンバーの方たちで来てくれて、いろいろなお話を教えていただいたりして、本当に助けられております。

●会長

モチベーションって何なのですか。

●ワーカーズコープ

奉仕というよりも、助けられております。もう本当に。先ほどこれを発表しながら泣きそうになったのですけれど、台風の後、すごく駐車場がきれいだったのです。泣いちゃだめだよと言われたのですけれども。他のところも大変なのですけれど、駅前には小枝とか、大きい枝は落ちていなかったのです。桜の木がありますので、落ち葉とか、大変なのです。これからのシーズンの落葉掃きも、その方が1人でみんなやってくださっていて、朝行くと、駐車場がとてもきれいな状態になっていたりするのです。もう本当に感謝しかなくて、みんなは仕事で忙しいんだから大丈夫よと言ってやってくださっているのですけれども、ずっとそれが何年も続いております。

とても小さな痩せたご婦人なののですけれども、本当に汗をかきながら、本当に感謝しかないです。

●委員

実際に厳しい経営の中でやっていく上で、駅前センターに関して言えば、施設利用料というのが収入源になると思うのですけれども、これは5年間変わらない数字を出して、今後見込みとして出されているのですが、その辺はもっとそこを収入増につながるような検討とかというのは、されていますか。

●ワーカーズコープ

本当に純粋な収入なので、サークルの立ち上げとか、講座からのサークルの立ち上げ、先ほど、クラシックって楽しいよという講座からサークルが立ち上がったように、本日も、レッツクッキングという男の料理教室、それも自主事業から立ち上がって、ずっと何年も続いております。そういう自主事業から立ち上がったサークルで地域の方が結びついて、その方たちがいろいろな地域でまた活躍されることは、循環の地域だと思っておりますので、そうやって私たちはつなげていきたいと考えております。

●委員

私が一番考えるのは老朽化です。1回も大規模修繕を市でもやっていないし、手が入っていないという話です。私は、西白井複合センターのプレゼンのときに聞いたりしたのですけれども、それは、この施設管理費がすごく高かったのです。それが赤字になっている原因でもあったのです。最近のところ。それは電気の蛍光灯の何とかとかいろいろ設備化されて、そこにお金使ったのだということで、なるほどということだったのですけれども。この施設も10万円以下なのかどうかはわからないし、また協議の中でどういうお金の出方がなされるのかわからないのですけれども、これからどんどんこれを請け負うと、こ

れから5年の間にそういうことがたくさん発生してくる。西白井ももうちょっと古いらしいですから、この間のプレゼンのときにそういう話が出ていましたから。この5年間で、そういう自分たちで直さなきゃいけなかったり、市と協議することが多くあると思うのですけれども、そういうことが視野に入っているかどうかということです。

今、清水さんのお話もあったように、自分で直すのだったら、収入を上げなきゃいけない。そこら辺はどうですか。修繕とか大規模修繕を要求するとか、どれぐらい視野に入っているのか。それがなかったら成り立たないのじゃないかなと思うのです。

●ワーカーズコープ

確かに成り立たないと思います。

期待はしないでくださいということでしたけれども、昨日、市の公共施設マネジメント課の方が業者の方と見に来てくださいました。駅前センターのロビーは空調がないので、予算の見積もりとかそういうことで来てもらっています。その他に蛍光灯ですね。今LEDにするためには、蛍光管自体を変えないといけないということです。この蛍光管がもう製造ストップになってしまっています。そういうところもあるので、西白井複合センターがこの間行ったので、駅前センターも大規模修繕をやっていたかないと、これは本当に継続が不可能になるかなと思っております。

●委員

それは市と交渉していく意志があるということですか。

●ワーカーズコープ

はい。もちろん。

●委員

そういう考えを持っているのですかね。

●ワーカーズコープ

はい。

●委員

あともう一つ、自主事業についてなのですが、西白井複合センターもそうですけれども、自主事業からサークルを立ち上げて、実際市民ミュージカルが立ち上がったということは、今のお話でもたくさん出てくるのです。また市民の方が温かいというお話がたくさん出てきます。私はまたいやらしい質問をしますが、何か使う方が固定されているというのはないですか。少し、みんな顔見知りになって仲よしにはなっているのだけれども、その来た人たちだけがすごくよく利用するし、職員の方とも親しいし、フレンドリーな形で、いい雰囲気の中はやられているかもしれないのですけれど、駅前ですから、多くの方が使える場所でもあると思うのです。そういう意味で何か全体を視野に入れて、宣伝するみたいなこともあったりするのでしょうか。自分たちの中で、センターとして満足しているところはないか。もっと広げようと思わないかという、その辺はどうお考えですか。

●ワーカーズコープ

自主事業で掘り起こしということで、車の講座、「車大好き」や、あとワンデー趣味として山の講座をやったときは、天気が悪天候でしたけれども、参加者全員が来てくれて、実際に山に登るわけではないのですけれども、山に登っている方の経験を聞いたりとか、日ごろ男性が来ない館ですので、趣味な講座をやると女性が多かったりするので、男性とかとパパとかそういう方たちの興味のある講座をやっております。

また、指定管理をもらってから、「ハートひきこもり」ということでずっと相談業務を続けてきております。結構難しい問題で、今年度は川崎の事件もある前に、駅前センターとして、地域で考えよう 8050 問題として講座を組んでいたところ、あの川崎の悲惨な事件がございましたけれども、やっぱり地域には、そういう目には見えませんけれども、とても重たい地域課題がございますので、そういうところも私たちは果敢に挑戦していきますし、これからも引き続きハートひきこもり支援は行っていきたいと思っております。

あとは、視点を変えた講座で、なかなか男性が参加しなかったりもするし、現役の方がなかなか参加って難しかったりもすると思うのですけれども、その方たちの興味を引くような講座も考えていきたいと。実際やってもいるのですけれども、ますます考えていきたいと思っております。

●委員

あと、曜日ですね。土曜日曜は、私も広報でよく見えています。こういうのがあるのだと。土曜日曜じゃないと行けない人が大半ですから、その辺も考慮しつつ考えていかないと、広がらないと思います。

●ワーカーズコープ

ありがとうございます。そのとおりです。

●会長

それでは、いいですかね。時間はちょっと早いですが、プレゼンテーションを終わりにさせていただきます。どうもありがとうございました。

(応募団体 退室・休憩)

●事務局

それでは、点数の発表をします。

まず先に、シダックスのほうから。サービス等の評価点数が、最低点が375点で490点になります。

経営状況に関する点数が、最低点が25点のところ33点になっています。総評価点数が、合計780点満点の539点。これがシダックスになります。

続いて、二つ目のワーカーズコープになります。こちらがサービス等の評価点数が、こ

ちらも同じく最低点が375点の中で524点取っています。

経営状況に関する点数が、最低点が25点のところ、ワーカーズは34点。総評価点数、合計が同じく780点満点のところ543点です。

シダックスが539点、ワーカーズコープが543点になりますので、ワーカーズコープが一番手という形になります。

以上で、総合評価として点数について報告させていただきます。

●会長

ありがとうございました。

結果は生涯学習課から報告しますよね。今回は、本当に僅差ですので、結果を報告する際は、残念な結果でしたけども、自主事業等が充実していたことなどをお伝えして、次回も挑戦いただければと思いますとお伝えください。

●事務局

それでは、評価理由を決定していきます。ワーカーズコープの良かった点を三つぐらい。

●会長

指定管理者として多くの経験を積み、運営に安定感がある。

それから、市内外で活動するバンドや音楽関係の団体とともに、まちづくりの自主事業に力を入れている。

ボランティアに参加する人が多いなど、地域の人たちから一定の支持を得ている。

あと3人の委員の先生が赤字を入れてください。

決定的な今回のシダックスの差は、やっぱり1番だろうね。これはしょうがない。これは現役の強みはありますよね。

●生涯学習課

変わることで、いろいろな刺激もあるとは思いますが。

●会長

それはそうだけれど、変わったことによるリスクも大きいからね。

●生涯学習課

それを考えると、地域の人たちとのつながりというのは、変わる可能性もあります。今まで割と運営に地域の人に参加するような形になっていたんで、そういう人たちが今度参加するかどうかはわからない。お客様はたくさん呼べるかもしれないけれども、それはちょっとわからないです。

●会長

いいほうに変わるか、悪いほうに変わるか、それはわからないですよ。

●事務局

どうですか、他に良いですか。何かご意見ありますか。清水委員はどうですか。

●委員

そんな感じで。

●事務局

松山委員はどうですか。

●委員

私も十分です。

●事務局

山崎委員。

●委員

十分です。

●事務局

これをまとめた形でつくります。今回はワーカーズコープさんが候補者ということで決定しました。ここで生涯学習課と子育て支援課と高齢者福祉課は退席なります。

(生涯学習課、子育て支援課、高齢者福祉課 退席)

●事務局

次第2が、お手元の資料をお配りさせていただいていると思いますが、資料2です。

●会長

異議なし。よくできているよ。2回目にしては上手。

●事務局

前回の高齢者就労指導センターの答申案をつくりました。一番大きいのは選定の理由だと思いますので、3枚目になりますけれども、一応読ませていただくと、市民のニーズを把握し自主事業に反映させることで、高齢者の就労に結びつけていること。

二つ目が、市が施設を設置した平成12年度から施設管理委託の受託者として、また、指定管理者制度を導入した平成18年度からは指定管理者として、合わせて19年間一貫して管理運営が行われていること。

三つ目が、白井市シルバー人材センターは、県内有数の加入率を誇っている団体であり、安定した経営が行われていること。この三つを書かせていただきました。

何かご意見等があれば伺えればと思うのですけれども。

●委員

異議なし。

●会長

やっぱり一番は、あそこの向こう側にとってうれしいんじゃない。こういう評価してもらえるところで。これをちゃんと見てくれたかと、そう思うんじゃないかな。

●事務局

これで一応答申という形にさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

●事務局

以上で終了となります。どうもお疲れさまでした。